

実験を実施した。30代はクルマやドライブレコという。実際に、佐々木社長は以前勤めていた企業で米国や香港など海外出張が多く、現地でレンタカーを借りていた。言語の壁もあるなか、手続きが面倒で利用を諦めることもあったという。佐々木社長は「日本に来るインバウンドも立場は同じなので、と考えてサービスを始めたい」と話す。

サービスには利用者のデータを集め、交通事故防止やインバウンドがよく行く観光資源の発掘にもつなげる狙いがある。例えば運転時のデータから急ブレーキをかけることが多い場所など、外国人が事故を起こしやすい地点を特定する。さらにどんな場所に滞在したかといったデータから、インバウンドがよく行く隠れた観光名所をみつける。千葉銀行の担当者は「外国人のニーズが分からないという観光事業者は多い。データをうまく生かせば、新規のビジネスにもつながるのではないか」と期待する。

今後は羽田空港や関西国際空港といったクルマを借りることができ、空港を全国に拡大する予定だ。いずれはショッピングモールなども対象にしたいという。

(勝莉菜乃)

# 旭エコ・プラントに融資

## 日本公庫 県内3金融機関と

日本政策金融公庫（中部の旭市内に建設された総合リサイクル・エネルギー施設「旭エコ・プラント」に、地元3金融機関と協調融資したと発表された。施設を開設した廃棄物リサイクル業の佐倉環境センター（佐倉市）に合計10億円程度を貸し出した。

協調融資に加わったのは融資額が多い順に千葉興業銀行、銚子信用金庫と京葉銀行。佐倉環境センターは木くずや金属くず、がれき



千葉県旭市の「旭エコ・プラント」

新宿駅西口地区の開発計画  
31日、町営ビル建費又着工  
田急など

### 線路点検車両乗車など、返礼品に

JR東日本水戸支社（水戸市）は地元の水戸市や隣接する茨城県笠間市のふるさと納税の返礼品として、常磐線内原駅（水戸市）に併設している内原設備訓練センターの体験ツアーを実施する。線路点検用車両の乗車体験などができるツアーで、対象は18歳以上。5月18、19日に計2回実施する。

必要な寄付額は1人7万円。寄付はJR東日本グループのインターネットショッピングモール「JRE MALL」に設けたふるさと納税ページで受け付ける。受け付けは31日で締め切るが、各回の申込者が定員に達したときは、前倒しで受け付けを終了する。各回の定員は20人ずつで、このうち10人ずつを水戸市、笠間市分とする。

18、19日ともツアーの催行時間は午前10時10分〜午後1時30分を予定。ツアーでは訓練用の線路で、線路点検に使用する「レールスター」に乗車できる。社員が列車を緊急停止させる訓練などで使う仮想現実（VR）機器を操作したり、模擬ホーム、トンネルをハンマーなど使って点検する訓練体験もできる。

### 山梨中銀、飛鳥II乗客に県内ツアー

山梨中央銀行は清水港（静岡市）に寄港した豪華客船「飛鳥II」の乗船客を山梨県に誘致するツアーを企画した。2023年秋に新規参入した観光事業の富裕層向け企画の第1弾。豪華客船から県内への新たな観光流入を創出する。

船舶投資ファンドのアンカー・シップ・パートナーズ（東京・中央）と連携し、清水港から身延山久遠寺（山梨県身延町）や宿坊などを巡る日帰り観光ツアーを企画した。20日に同港に停泊した飛鳥IIの寄港地観光ツアーのひとつとして催行され、15人が参加した。

山梨中銀は今後も県内に誘客するツアーを企画する方針。24年度以降には旅行業の許認可手続きをし、専門子会社を設立して個人向け観光事業を本格的に展開する。

# 国内最大濃

# ミノキシミ

さらに

# 4つの有

# 追加配合

